



2023年3月期第3四半期決算の概要

2023年2月8日
東レ株式会社

目次

I . 2023年3月期第3四半期決算の概要	2
II . 2023年3月期連結業績見通し	17
III . 参考資料	21

I . 2023年3月期第3四半期決算の概要

2023年3月期第3四半期連結損益概要

億円

	22年3月期 第3四半期 (10~12月)	23年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	5,839	6,400	+561 (+9.6%)	16,469	19,018	+2,549 (+15.5%)
事業利益	358	260	-98 (-27.3%)	1,060	804	-255 (-24.1%)
(売上収益事業利益率)	6.1%	4.1%	-2.1 ポイント	6.4%	4.2%	-2.2 ポイント
非経常項目	▲ 16	▲ 11	+5	▲ 28	182	+211
金融収益及び費用	10	▲ 35	-45	15	▲ 19	-34
持分法による投資利益	41	27	-15	159	122	-37
税引前利益	393	240	-153 (-38.8%)	1,205	1,090	-115 (-9.5%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	284	154	-129 (-45.6%)	893	746	-148 (-16.5%)

為替レート		(22/3 3Q)	(23/3 3Q)	(22/3 3Q累計)	(23/3 3Q累計)
<円/US\$>	期中平均	113.7	141.6	111.1	136.5
	期末	115.0	132.7		
<円/ユーロ>	期中平均	130.1	144.3	130.6	140.6
	期末	130.5	141.5		

非経常項目

億円

	22年3月期 第3四半期 (10~12月)	23年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
固定資産売却益	3	1	-2	8	3	-5
子会社の支配喪失に伴う利益*1	-	-	-	-	251	+251
固定資産処分損	▲ 19	▲ 12	+7	▲ 33	▲ 26	+7
減損損失	▲ 0	▲ 0	-0	▲ 3	▲ 11	-8
製品保証費用*2	-	-	-	-	▲ 35	-35
その他	-	-	-	-	0	+0
非経常項目	▲ 16	▲ 11	+5	▲ 28	182	+211

*1 ハンガリーのリチウムイオン二次電池用バッテリーセパレータフィルム製造・販売会社 Toray Industries Hungary Kft. に対して、LG Chem, Ltd. が新たに出資をし、合併会社 LG Toray Hungary Battery Separator Kft. を設立したことによる投資の再評価益。

*2 「炭素繊維複合材料事業」において当社が過去に製造・販売した一般産業用途の一部製品のうち、不具合の可能性があるものについて、その交換、補修等のために今後必要と見込まれる費用。

資産・負債・資本、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	22年3月末	22年12月末	増減
資産合計	30,439	32,646	+2,207
流動資産	13,732	15,004	+1,271
有形固定資産	9,907	9,965	+58
その他	6,799	7,677	+878
負債合計	15,442	16,495	+1,053
流動負債	7,411	8,265	+855
非流動負債	8,032	8,230	+198
資本合計	14,996	16,150	+1,154
自己資本*	14,056	15,165	+1,109
自己資本比率*	46.2%	46.5%	+0.3ポイント
有利子負債残高	9,357	10,292	+935
D/Eレシオ	0.67	0.68	+0.01

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	615	207	-407
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 300	▲ 699	-399
フリー・キャッシュ・フロー	315	▲ 492	-806

* 自己資本＝親会社の所有者に帰属する持分

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

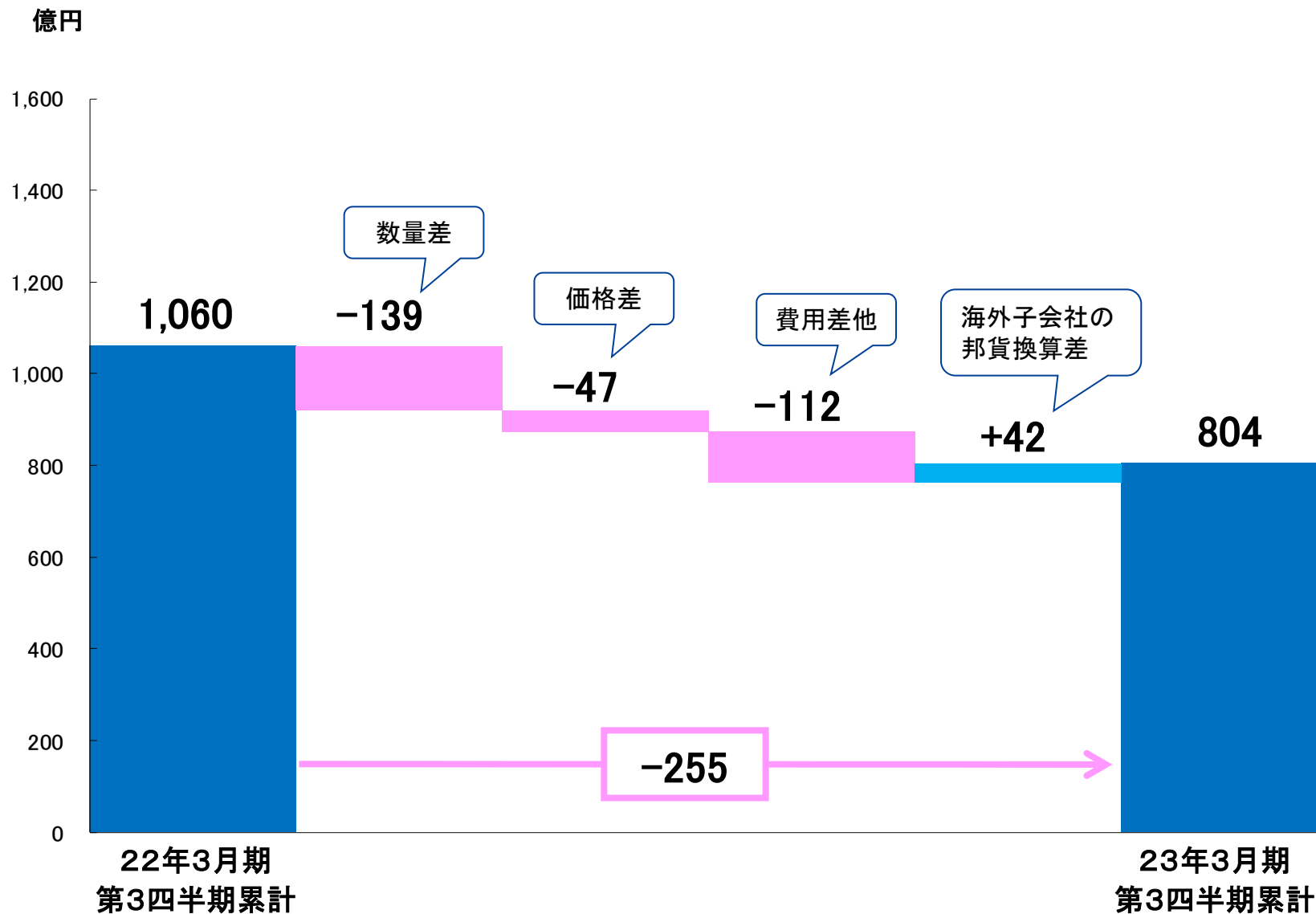
	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
設備投資額	663	683	+20
東レ	163	178	+15
連結子会社	501	506	+5
減価償却費	923	977	+54
東レ	293	261	-32
連結子会社	630	715	+85
研究開発費	441	494	+53
東レ	325	354	+30
連結子会社	117	140	+23

主な設備投資案件

Zoltek Companies, Inc.

: 炭素繊維生産設備

事業利益増減要因分析



セグメント別売上収益・事業利益

億円

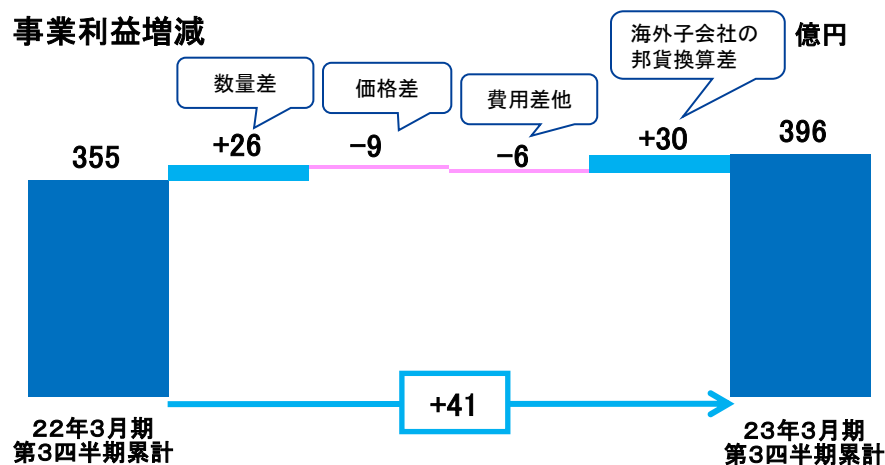
		22年3月期 第3四半期 (10~12月)	23年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	繊維	2,301	2,757	+457 (+19.8%)	6,316	7,848	+1,532 (+24.3%)
	機能化成品	2,336	2,250	-86 (-3.7%)	6,781	6,983	+202 (+3.0%)
	炭素繊維複合材料	542	712	+170 (+31.3%)	1,532	2,112	+580 (+37.9%)
	環境・エンジニアリング	487	501	+14 (+2.9%)	1,346	1,562	+216 (+16.0%)
	ライフサイエンス	135	143	+8 (+6.1%)	386	402	+16 (+4.2%)
	その他	38	36	-1 (-3.9%)	108	112	+4 (+3.3%)
	合計	5,839	6,400	+561 (+9.6%)	16,469	19,018	+2,549 (+15.5%)
事業利益	繊維	111	157	+46 (+41.0%)	355	396	+41 (+11.6%)
	機能化成品	224	49	-175 (-78.1%)	746	300	-446 (-59.8%)
	炭素繊維複合材料	17	62	+45 (+259.9%)	▲ 19	118	+137 (-)
	環境・エンジニアリング	48	46	-2 (-4.3%)	109	129	+20 (+18.1%)
	ライフサイエンス	5	2	-2 (-49.3%)	16	6	-10 (-63.0%)
	その他	8	1	-7 (-87.6%)	15	11	-4 (-24.8%)
	調整額	▲ 55	▲ 57	-3	▲ 162	▲ 155	+7
	合計	358	260	-98 (-27.3%)	1,060	804	-255 (-24.1%)

セグメント別業績(繊維)

億円

		22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	1,300	1,593	+293 (+22.5%)
	国内	3,246	3,998	+752 (+23.2%)
	海外	4,105	5,290	+1,185 (+28.9%)
	修正	▲ 2,335	▲ 3,032	-698
	計	6,316	7,848	+1,532 (+24.3%)
事業利益	東レ	89	128	+39 (+44.3%)
	国内	83	87	+4 (+5.3%)
	海外	199	185	-14 (-6.8%)
	修正	▲ 16	▲ 5	+11
	計	355	396	+41 (+11.6%)

事業利益増減



< 概況 >

■全般

ほぼ全ての用途・地域において、原燃料価格及び運輸費高騰の影響を受けた。衛材用途は需給バランス悪化の影響で低調に推移したが、衣料用途で、コロナ禍からの回復が見られた。産業用途は一部地域で自動車用途の需要が回復傾向となった。

<トピックス>

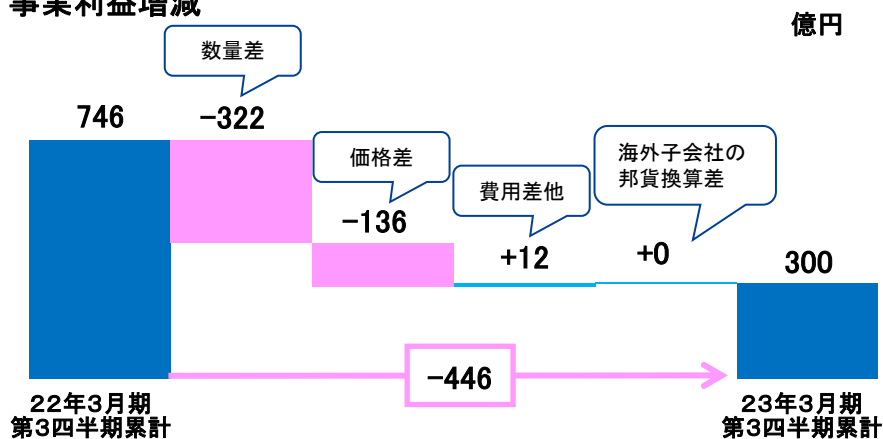
- ・ 22年10月：
銀面調人工皮革「Ultrasuede® nu」の、100%植物由来ポリエステルを使用した最新品種を開発。22年11月に就航した全日本空輸株式会社の「ANA Future Promise」をテーマとした特別塗装機 ANA Green Jet のヘッドレストカバーに採用。
- ・ 22年12月：
回収漁網からつくる再生樹脂などを原料に、東レ独自の解再重合技術を活用した原糸、テキスタイルなどのナイロン6ケミカルリサイクル繊維製品を国内で23年3月から販売開始予定。23年度で約8億円、25年度で約12億円の売上を目指す。

セグメント別業績(機能化成品)

億円

		22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	1,944	1,952	+8 (+0.4%)
	国内	3,683	4,115	+431 (+11.7%)
	海外	4,572	4,282	-289 (-6.3%)
	修正	▲ 3,418	▲ 3,366	+52
	計	6,781	6,983	+202 (+3.0%)
事業利益	東レ	218	104	-114 (-52.3%)
	国内	167	180	+13 (+7.9%)
	海外	359	5	-353 (-98.5%)
	修正	2	10	+8
	計	746	300	-446 (-59.8%)

事業利益増減



<概況>

■全般

原燃料価格高騰の影響を受けた。

■樹脂事業

国内自動車用途の回復遅れや中国市場の需要減少の影響により低調となった。

■フィルム事業

ポリエステルフィルムで光学用途・電子部品関連の需要減速の影響を受けた。

■電子情報材料事業

有機EL関連材料、回路材料の需要が減少した。

<トピックス>

・ 22年10月:

MLCC製造時の工程離型用ポリエステルフィルム「ルミラー®」の生産能力増強を決定。岐阜工場の生産設備を改造し、生産能力を現行比 1.6 倍にする計画。設備投資額は 80 億円で、2025 年からの稼働開始を予定。

・ 22年12月:

環境負荷を低減する印刷・離型・粘着加工用新規 PET フィルムを創出。製造時の脱炭素化が望まれている離型フィルムや粘着フィルム、印刷用フィルム、包装用フィルム、車載用フィルムなどを中心に、環境配慮型フィルム製品の普及に貢献すべく、23 年度中の国内工場での生産化を目指す。

機能化成品のサブセグメント別売上収益

億円

	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
樹脂・ケミカル	3,190	31%	3,200	31%	+0%
フィルム	2,504	25%	2,461	24%	-2%
電子情報材料	579	6%	423	4%	-27%
商事他	3,926	38%	4,264	41%	+9%
修正	▲ 3,418	-	▲ 3,366	-	-
合計	6,781		6,983		+3%

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

億円

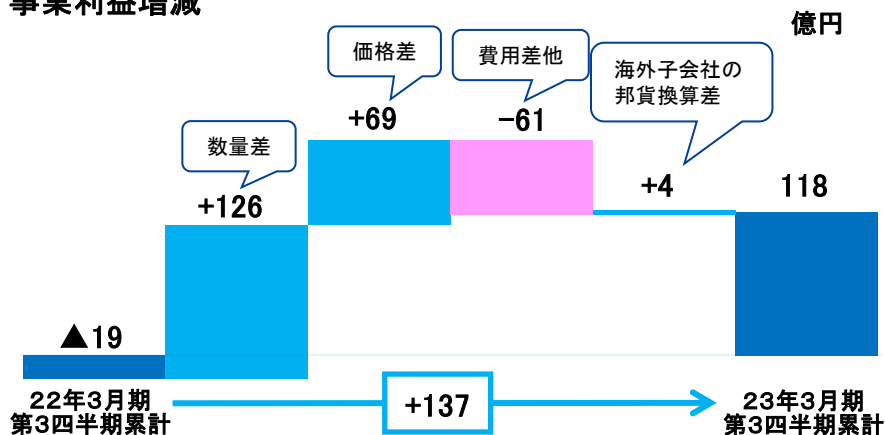
		22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	508	657	+149 (+29.3%)
	国内	393	523	+130 (+33.2%)
	海外	1,356	1,922	+566 (+41.7%)
	修正	▲ 726	▲ 990	-265
	計	1,532	2,112	+580 (+37.9%)
事業利益	東レ	7	104	+97 (-)
	国内	6	11	+5 (+74.9%)
	海外	▲ 3	45	+48 (-)
	修正	▲ 29	▲ 41	-13
	計	▲ 19	118	+137 (-)

< 概況 >

■全般

航空宇宙用途の需要が回復傾向となったほか、一般産業用途において圧力容器用途が拡大した。また、原燃料価格の上昇に対し、価格転嫁を推進した。

事業利益増減



炭素繊維複合材料のサブセグメント別売上収益

億円

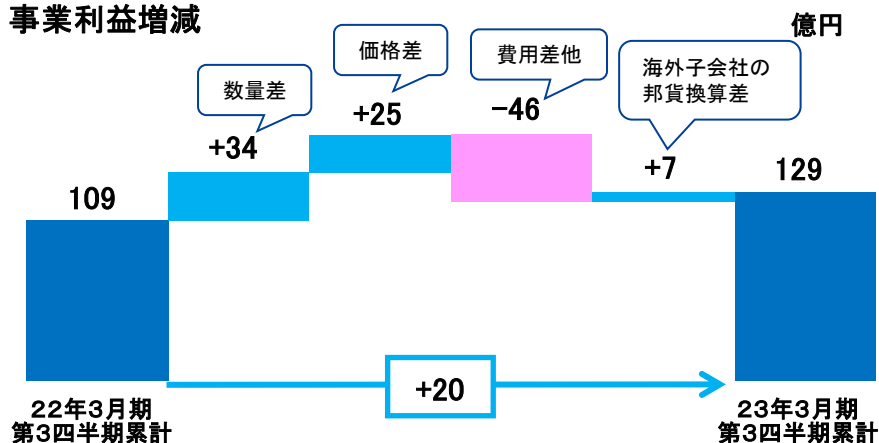
	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)		
	売上収益	比率	売上収益	比率	増減率
航空宇宙	312	20%	415	20%	+33%
スポーツ	195	13%	294	14%	+51%
一般産業	1,025	67%	1,403	66%	+37%
合計	1,532		2,112		+38%

セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

億円

		22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上収益	東レ	245	270	+25 (+10.0%)
	国内	1,395	1,508	+113 (+8.1%)
	海外	323	468	+145 (+45.0%)
	修正	▲ 617	▲ 684	-67
	計	1,346	1,562	+216 (+16.0%)
事業利益	東レ	10	21	+11(+113.5%)
	国内	48	45	-3 (-6.5%)
	海外	53	65	+12 (+22.6%)
	修正	▲ 2	▲ 3	-0
	計	109	129	+20 (+18.1%)

事業利益増減



< 概況 >

■水処理事業

逆浸透膜などの需要が堅調に推移し、新たに稼働を開始した設備が業績に寄与した。

■国内子会社

エンジニアリング子会社でリチウムイオン二次電池関連装置の出荷が増加した。

<トピックス>

・ 22年12月:
東レエンジニアリング先端半導体MIテクノロジー株式会社は、業界最高水準の精度を有する半導体チップ外観検査装置「INSPECTRA® CR-Ⅲ」を開発、23年1月から販売を開始。半導体チップの外観検査装置としては、業界で初めてとなる専用装置であり、これまで一般的に使用されてきた装置に比べて約5倍の精度を実現するとともに、従来品とほぼ同等の効率を有することが特徴。

セグメント別業績(ライフサイエンス)

億円

		22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
売上収益	東レ	173	183	+10	(+5.9%)
	国内	314	318	+4	(+1.2%)
	海外	97	127	+30	(+31.2%)
	修正	▲ 198	▲ 226	-28	
	計	386	402	+16	(+4.2%)
事業利益	東レ	▲ 8	▲ 17	-9	(-)
	国内	20	14	-6	(-32.3%)
	海外	5	7	+2	(+49.0%)
	修正	▲ 0	3	+3	
	計	16	6	-10	(-63.0%)

< 概況 >

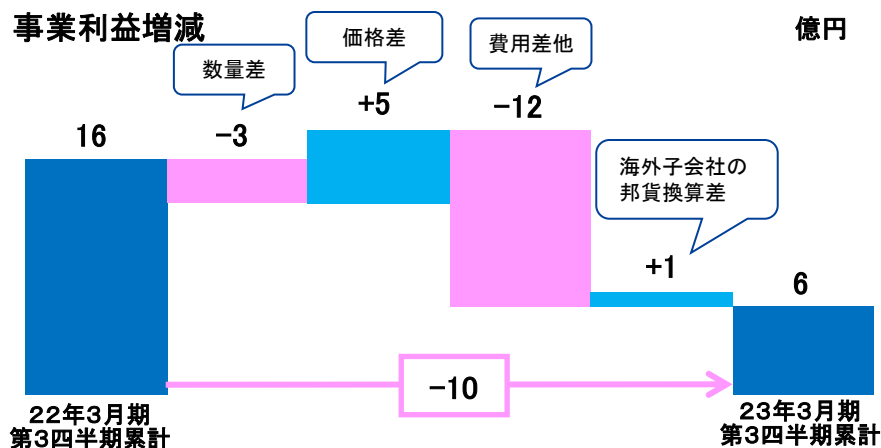
■ 医薬事業

経口そう痒症改善薬レミッチ®*において、後発医薬品発売の影響を受けたほか、薬価改定の影響を受けた。

■ 医療機器事業

血液透析ろ過用のダイアライザーが国内で堅調に推移したが、原燃料価格高騰の影響を受けた。

*レミッチ®は鳥居薬品(株)の登録商標です。



主要子会社・地域の収益状況

億円

	売上収益			事業利益			
	22年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	22年3月期 第3累計四半期 (4~12月)	23年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
東レインターナショナル	4,333	5,043	+710	94	109	+15	
東レエンジニアリング	627	803	+176	22	33	+11	
東レ建設	282	215	-67	5	▲ 7	-12	
東レフィルム加工	290	307	+18	29	23	-7	
在東南アジア・子会社	繊維	947	1,298	+351	12	19	+8
	機能化成品	950	812	-137	167	▲ 23	-191
	その他	4	6	+1	0	1	+0
	計	1,902	2,116	+215	179	▲ 3	-183
在中国・子会社	繊維	1,875	2,357	+482	143	167	+24
	機能化成品	930	856	-74	57	72	+15
	その他	321	408	+87	30	37	+8
	計	3,126	3,621	+495	229	276	+47
在韩国・子会社	繊維	741	815	+74	36	▲ 17	-53
	機能化成品	1,170	1,013	-157	134	▲ 23	-157
	その他	258	306	+48	32	51	+19
	計	2,169	2,134	-35	201	11	-191

Ⅱ. 2023年3月期連結業績見通し

2023年3月期連結業績見通し

業績見通しの前提

世界経済は、原燃料価格の高止まりや労働力不足によるインフレ圧力や欧米を中心とする利上げ等により停滞感の強い状況が継続すると見られる。中国はゼロコロナ政策の解除に舵を切ったが、世界経済の減速や不動産市場低迷の影響から経済正常化への過程は緩やかとなる見通し。また、ウクライナ情勢の長期化のほか、金融市場の混乱も懸念材料として挙げられる。

億円

		22年3月期 実績	23年3月期 見通し	増減	前回見通し	前回見通し との差異*
売上収益	上期	10,630	12,618	+1,988 (+18.7%)	12,618	—
	下期	11,655	12,482	+827 (+7.1%)	13,382	-900
	通期	22,285	25,100	+2,815 (+12.6%)	26,000	-900
事業利益	上期	702	544	-158 (-22.5%)	544	—
	下期	619	456	-163 (-26.4%)	756	-300
	通期	1,321	1,000	-321 (-24.3%)	1,300	-300
親会社の所有者に 帰属する当期利益	上期	609	591	-18 (-3.0%)	591	—
	下期	233	129	-104 (-44.7%)	359	-230
	通期	842	720	-122 (-14.5%)	950	-230
基本的1株当たり 当期利益	上期	38.06 円	36.92 円			
	下期	14.56 円	8.05 円			
	通期	52.63 円	44.97 円			
1株当たり配当金	上期	8.00 円	9.00 円			
	下期	8.00 円	9.00 円			
	通期	16.00 円	18.00 円			
配当性向	通期	30%	40%			

為替レート的前提
(1月以降)
135円/US\$

*前回見通しとの差異: 2022年11月8日公表値との差異

セグメント別連結業績見通し

		22年3月期実績			23年3月期見通し			増減			億円 前回見通しとの差異*
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
売上収益	繊維	4,015	4,347	8,362	5,090	4,880	9,970	+1,075	+533	+1,608	-200
	機能化成品	4,445	4,655	9,100	4,733	4,527	9,260	+288	-128	+160	-690
	炭素繊維複合材料	989	1,163	2,152	1,400	1,420	2,820	+410	+257	+668	—
	環境・エンジニアリング	859	1,134	1,993	1,061	1,279	2,340	+202	+146	+347	-10
	ライフサイエンス	251	269	520	259	291	550	+8	+23	+30	—
	その他	70	89	159	75	85	160	+5	-4	+1	—
	合計	10,630	11,655	22,285	12,618	12,482	25,100	+1,988	+827	+2,815	-900
事業利益	繊維	243	179	422	239	276	515	-4	+98	+93	-25
	機能化成品	522	387	910	251	99	350	-272	-288	-560	-300
	炭素繊維複合材料	▲ 36	52	16	56	94	150	+92	+42	+134	+10
	環境・エンジニアリング	61	105	165	83	137	220	+22	+33	+55	-5
	ライフサイエンス	11	3	14	3	2	5	-8	-1	-9	—
	その他	7	23	30	10	10	20	+3	-13	-10	—
	調整額	▲ 107	▲ 129	▲ 236	▲ 98	▲ 162	▲ 260	+9	-33	-24	+20
	合計	702	619	1,321	544	456	1,000	-158	-163	-321	-300

*前回見通しとの差異: 2022年11月8日公表値との差異

セグメント別事業利益の前回見通しとの差異

セグメント	通期事業利益(億円) 前回見通し*→今回見通し ()内差異	増減益要因
繊維	540 → 515 (-25)	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料用途は、欧米の景気減速、中国でのコロナ感染拡大の影響等により、特に原糸原綿の市況悪化を見込む。 ・産業用途は、半導体不足の影響緩和による自動車生産台数の更なる回復を見込んでいたが、需要低迷が継続する見通し。
機能化成品	650 → 350 (-300)	<ul style="list-style-type: none"> ・樹脂事業は、中国需要の低迷によりABS樹脂で数量・スプレッドの回復遅れを見込む。 ・フィルム事業では、PETフィルムの光学・電子部品需要減速が拡大・長期化。4Q以降の回復を見込んでいたが、本格回復までには時間を要する見通し。 ・電子情報材料事業は、4Qより回復を見込んでいたスマートフォン、テレビ需要の回復が大幅に遅れる見通し。
炭素繊維 複合材料	140 → 150 (+10)	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機用途では、民間旅客機のビルドレートが復調傾向。 ・スポーツ用途では汎用品を中心に需要低下、顧客の在庫調整を見込む。
環境・ エンジニアリング	225 → 220 (-5)	<ul style="list-style-type: none"> ・水処理は、欧州での景気後退や中国のゼロコロナ政策転換に伴う市況の混乱により一部地域で出荷減となる見通し。 ・エアフィルターの空気清浄機用途で、コロナ特需の反動から顧客在庫調整が継続。
ライフサイエンス	5 → 5 (±0)	・前回見通し通り。
その他	20 → 20 (±0)	
調整額	▲280 → ▲260 (+20)	*前回見通しとの差異:2022年11月8日公表値との差異
合計	1,300 → 1,000 (-300)	

Ⅲ. 参考資料

セグメント別四半期売上収益推移

億円

	22年3月期					23年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
繊維	1,842	2,174	2,301	2,046	8,362	2,258	2,832	2,757
機能化成品	2,226	2,219	2,336	2,319	9,100	2,450	2,283	2,250
炭素繊維複合材料	485	504	542	620	2,152	686	714	712
環境・エンジニアリング	437	422	487	647	1,993	507	553	501
ライフサイエンス	115	136	135	134	520	123	136	143
その他	32	38	38	51	159	34	41	36
合計	5,137	5,493	5,839	5,817	22,285	6,059	6,559	6,400

セグメント別四半期事業利益推移

億円

	22年3月期					23年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
繊維	118	126	111	67	422	87	152	157
機能化成品	279	243	224	163	910	169	82	49
炭素繊維複合材料	▲ 21	▲ 16	17	35	16	24	32	62
環境・エンジニアリング	34	27	48	57	165	35	48	46
ライフサイエンス	2	9	5	▲ 2	14	1	3	2
その他	2	5	8	15	30	4	7	1
調整額	▲ 53	▲ 54	▲ 55	▲ 74	▲ 236	▲ 48	▲ 50	▲ 57
合計	361	341	358	261	1,321	271	273	260

機能化成品サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	22年3月期					23年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
樹脂・ケミカル	1,045	1,044	1,101	1,069	4,259	1,087	1,036	1,077
フィルム	832	831	841	847	3,350	886	816	760
電子情報材料	193	192	194	162	741	158	131	134
商事他	1,286	1,247	1,393	1,378	5,303	1,503	1,404	1,357
修正	▲ 1,131	▲ 1,095	▲ 1,192	▲ 1,136	▲ 4,554	▲ 1,184	▲ 1,105	▲ 1,077
合計	2,226	2,219	2,336	2,319	9,100	2,450	2,283	2,250

炭素繊維複合材料サブセグメント別四半期売上収益推移

億円

	22年3月期					23年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
航空宇宙	95	106	110	116	427	124	133	158
スポーツ	61	62	73	83	279	95	102	97
一般産業	329	336	359	421	1,447	468	478	457
合計	485	504	542	620	2,152	686	714	712

主要子会社・地域の四半期売上収益推移

億円

		22年3月期					23年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
東レインターナショナル		1,292	1,441	1,600	1,370	5,703	1,506	1,759	1,778
東レエンジニアリング		223	187	217	339	966	238	293	272
東レ建設		73	94	115	140	423	74	73	69
東レフィルム加工		93	95	101	96	386	104	101	103
在東南アジア・ 子会社	繊維	299	316	332	364	1,312	404	464	430
	機能化成品	322	312	316	312	1,261	291	253	268
	その他	2	1	1	1	6	2	2	2
	計	623	629	649	677	2,579	696	719	701
在中国・ 子会社	繊維	556	689	630	466	2,341	641	913	803
	機能化成品	294	304	332	276	1,206	302	267	287
	その他	99	95	126	99	420	134	139	135
	計	949	1,088	1,088	842	3,967	1,077	1,320	1,225
在韩国・ 子会社	繊維	231	236	274	259	1,000	278	277	261
	機能化成品	395	379	396	386	1,556	381	321	311
	その他	80	77	101	89	347	104	106	96
	計	706	692	771	734	2,903	762	704	668

主要子会社・地域の四半期事業利益推移

億円

		22年3月期					23年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	3Q
東レインターナショナル		27	33	35	28	122	29	39	40
東レエンジニアリング		11	0	12	25	47	8	13	13
東レ建設		▲ 1	3	3	8	14	▲ 3	▲ 2	▲ 2
東レフィルム加工		10	8	11	9	38	11	6	6
在東南アジア・ 子会社	繊維	3	8	1	3	15	4	14	2
	機能化成品	73	53	41	25	192	7	▲ 21	▲ 10
	その他	0	0	0	▲ 0	0	0	0	0
	計	76	61	42	28	207	11	▲ 7	▲ 8
在中国・ 子会社	繊維	48	57	38	23	166	44	66	57
	機能化成品	16	18	23	24	80	24	25	22
	その他	8	9	12	5	34	15	12	10
	計	72	85	72	51	281	84	103	90
在韩国・ 子会社	繊維	16	9	10	▲ 5	31	▲ 6	▲ 4	▲ 8
	機能化成品	54	47	33	12	146	14	▲ 13	▲ 25
	その他	9	10	13	10	42	17	19	15
	計	79	66	56	18	219	26	2	▲ 18

ESGに関する社外からの評価

■ CDP

2022年12月



Water Security: A
Climate Change: A-

■ MSCI

2022年9月

MSCI
ESG RATINGS



CCC B BB BBB A AA **AAA**

■ S&P Global Sustainability Yearbook Member

2023年2月

Toray Industries, Inc.
Chemicals

**Sustainability
Yearbook Member**
S&P Global ESG Score 2022

68 /100

As of February 7, 2023.
Position and Score are industry specific and reflect exclusion
screening criteria. Learn more at spglobal.com/esg/yearbook

S&P Global

Sustainable1

■ 海外主要インデックスの構成銘柄に選定

Member of

**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA

2022年12月

「Dow Jones Sustainability
Index(DJSI)」のAsia Pacific

2022 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

2022年9月

「MSCI ESG Leaders Indexes」



FTSE4Good

2022年6月

「FTSE4Good Index Series」

■ GPIFが採用するESG指数の構成銘柄に選定



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

**S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数**

2022 CONSTITUENT MSCI ジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

本資料中の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry